

たり、▽夜間・休日等の対応400回▽重複投薬・相互作用等防止加算等40回▽服用薬剤調整支援料1回▽麻薬指導管理加算10回▽かかりつけ薬剤師指導料等40回などの実績を全てクリアする必要があるなど、極めてハードルが高いものとなった。

ただ、調剤基本料1を算定している薬局では、麻薬小売業者の免許を受けていることなどの基準を全て満たしていれば、これら実績は適用されない。調剤基本料1を算定できるかどうか地域支援体制加算のカギになる。

服用薬剤調整支援料は、ポリファーマシーへの病院薬剤師の取り組みを評価する「薬剤総合評価調整管理料」の算定医療機関と連携し、薬の適正使用を行った場合に評価の対象となる。

薬剤服用歴管理指導料は、「原則、過去6カ月以内にお薬手帳を持参して同じ薬局を繰り返し

利用した場合」に相当する現行の38点を41点、「患者の初回来局時」に相当する現行の50点を53点に引き上げるが、6カ月以内に再び処方箋を持参した患者のうち、お薬手帳を持参した患者割合が5割以下など活用実績が認められない薬局は、特例の13点しか算定できなくなった。

調剤基本料は、基本料1(41点)、基本料2(25点)、基本料3(20点)、同(15点)、特別調剤基本料(10点)の5段階となる。基本料1と2の点数は据え置いたが、基本料2の要件となっている処方箋の集中度を90%超から「85%超」に拡大。また、特定医療機関からの処方箋が4000回超の場合は、集中度にかかわらず基本料2の対象となる。医療モールのように、薬局のある建物内に複数の医療機関がある場合、全ての診療所の処方箋を合算することになり、基本料2に減額となる薬局が増えそうだ。

ウエルシア店舗 業務停止処分 処方箋なしで医療用医薬品販売

管理薬剤師が処方箋なしで医療用医薬品を販売していた「ウエルシア薬局ユーカリが丘店」(千葉県佐倉市)が千葉県から業務停止命令を受けた。業務停止処分の期間は19日間。2014年8月31日から約3年間にわたり、30代の管理薬剤師が処方箋なしで向精神薬などの医療用医薬品36種類を患者20人以上に販売していたことに対し、厳しい処分が必要と判断された。同社は、法令遵守を徹底させる教育を全社員に行う再発防止策を発表している。

行政処分の対象となったのは、昨年9月にウエルシア薬局ユーカリが丘店で医療用医薬品の不正販売を行った行為。同社から通報を受け、県が3回にわたって立入検査を行った結果、ユーカリが丘店に勤務する30代の管理薬剤師が、処方箋がないにもかかわらず患者26人に対して計63回36種類の医療用医薬品を販売していたことが発覚した。

販売された医薬品の内訳は、向精神薬、E D治療薬、薄毛治療薬、抗イン

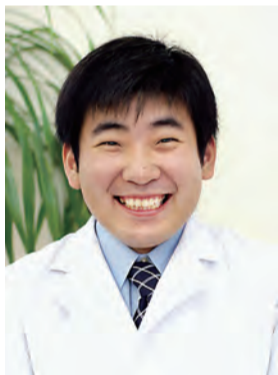
フルエンザ薬などで、向精神薬については、自ら調剤していたことが分かった。当初、処方箋を持参していたが、次第に持参しなくても調剤を要望する患者もいた模様だ。現時点で健康被害は報告されておらず、男性薬剤師は既に退職している。

県は、これら行為を重く見て、薬機法に基づく厳しい処分が必要と判断し、同店舗に対して19日間の業務停止命令を出した。

今回の行政処分を受けウエルシア薬局は、「管理薬剤師は処方箋がないと知りながら、不正を行っていた」として、「患者や関係者に多大なご迷惑とご心配をおかけしたことを心よりお詫び申し上げます」との謝罪をホームページで公表。再発防止策として、薬剤師だけでなく、全社員を対象に法令遵守の徹底に関する教育を行う考えを示している。

県は、関係団体に同様のケースの再発防止を要請する文書を早期に発出する方針だ。

高い目標が成功の秘訣



メディセレスクール
藤井 洋光

はじめまして。今回のコラムを担当するメディセレスクール専任講師の藤井洋光です。今年も気づけばもう3月。全国の薬学生の皆さんは、新年度に向けて新たな気持ちになっているかと思います。その時だからこそぜひやって欲しいことがあります。それは目標設定です。目標設定はどんな時にも必要です。学生であっても社会人であっても、成功する人は目標をしっかりと立てて実行しています。逆に失敗する人は目標を立てていなかったり、目標設定が甘かったりします。

例えば、ウサイン・ボルト元短距離走選手は100mのゴールラインぴった

国試予備校の現場から

りを目がけて走っているのではなく、100mよりも先にゴールラインを設けて走り抜けていたそうです。人はゴールが見えることで目標を達成したと勘違いし、そこで動きが鈍くなってしまおうそうです。

ポイントは、ラクして達成できることを設定するのではなく、達成したい目標の一つ先のことや苦勞しないと達成できない目標を設定することです。この機会に、達成してみたい目標といつまでに達成するかを書き出してみてください。

目標が書いたら次は目標達成のスケジュールを作成してみましょう。学生の皆さんがまず思いつくのは勉強のスケジュールだと思います。例えばテストがある場合、その前日までに試験範

囲の復習を終えようとしていませんか？実はそのスケジュール設定には無理があったりします。

スケジュールを組んだとしても、体調不良や用事などで勉強ができない日もあります。そこで、スケジュールには必ず予備日を設ける必要があります。予備日があることで、勉強ができなかった日や目標が達成できなかった日のフォローを行えます。もちろん、スケジュール通りに達成できた場合でも、もう一度見直しの時間を設けられるので、自信を持って試験を受けることができます。この1年を有意義に過ごすために余裕を持ったスケジュールを設定し、目標を達成してください！



薬のことなら 薬事日報ウェブサイト

『薬事日報』に掲載される記事を中心に、医薬業界のニュースサイトとして成長を続けています。

一般からのアクセスは少なく、閲覧者の多くが医薬業界に属しております。業界の情報収集にご活用ください。

<https://www.yakuji.co.jp>

薬事日報

検索

「薬学生新聞」も
ウェブサイトに公開中!!